

町政を問う

耕作放棄地解消の良策は？



渡部 勇

町長 農業施策の充実はできている 伯耆町の町土利用における農用地は

渡部 就農人口は減り、また平均年齢も高齢化も目立つが、具体策は。

町長 むずかしい問題です。特効薬はないが、下支えをして応援をしていく、また、施策の充実は、している。

渡部 異業種の民間企業

が農業へ参入しているが、本町への参入はあるか。

町長 目立った動きはないが、過去にある企業と接触したが、その後新たな展開はない。

渡部 耕作放棄地が増えているが、対応をなにか考えているか。

町長 むずかしい問題ではあるが、解消するための補助事業があり、さまざまな施策について充実している。

島根原子力防災連絡会議へのオブザーバー参加について、また、自然エネルギー普及への取組みは

渡部 四十キロ圏内に入るが、風に乗る放射性物質等が向かってくる。農業・畜産に与える影響があるが。

町長 甚大な影響があると思う。ただ想定はできないが、非常に危惧する。**渡部** 避難場所の受け皿として重要な役割を果たすことになるので、連絡会議のオブザーバーとして

て参加しては。

町長 県が広域避難については主体をとると行政懇談会で話があり、了解している。

渡部 太陽光や風力など自然エネルギーの普及に向けた取り組みとしては、どうか。

町長 町内の電力利用は太陽光と水力です。また、町内の水力発電は水路利用で、ダム利用ではない。

あいさつ運動について

渡部 年四回のあいさつ運動を実施しているが、学校教育現場として、どのような教育をしているのか。また、

役場は町民に対しあいさつができていますか。

教育長 学校教育の重点課題として、日々あいさつができるように取り組んでいる。そして、家庭と地域でも元気にあいさつができるようにしてほしい。

町長 再度、課長会議などで徹底したい。



耕作放棄地



島根原子力発電所